

～野菜からつながる人との輪を大切に～

## 鈴木 敏也・綾子さん（四国中央市（旧土居町））

敏也：四国中央市土居学校給食野菜部会 部会長 1975年生まれ

綾子：さくらひめ四国中央会 会計 1974年生まれ

フェイスブック【[http:// www.facebook.com/suyanvege/](http://www.facebook.com/suyanvege/)】



### ☆経営概況☆

さといも（伊予美人100a）を経営の中心に品質を維持するため、水稻との輪作体系をとっています。さといもをJAに出荷する他、野菜を周年栽培し、学校給食や産直市、スーパー、ホテル、飲食店に出荷しています。

### ☆ここがポイント☆

#### ■大阪からUターン就農

大阪でサラリーマンをしていましたが、一人で農業を頑張っている父親の姿を見て、「将来跡を継ぐなら早い方がいい。農業で食べていこう」と決意しました。

妻も大阪で保育士をしていましたが、子どもの食物アレルギーをきっかけに、自分達で作った野菜や米で子供を育てたいと、**夫の実家へのUターン**を決めました。

#### ■2人3脚で農業経営

家族経営協定を締結し、平成26年には夫婦ともに認定農業者となり、私は経営全般、妻は産直担当と役割分担を決めています、お互い協力して作業をしています。

さといもは全期マルチ栽培法（全生育期間を通じて畝をマルチで被覆する栽培方法）を導入することで省力化を図り、水稻の一部は愛媛県特別栽培農産物に取り組み、学校給食米「うまさだち」として出荷しています。

その他、百姓百品を目標に、**年間30品目を越える野菜を減農薬減化学肥料で栽培**し、産直市やマルシェで顔の見える販売を行い、お客様に食材としての魅力を伝えています。また、さつまいもは干し芋の原料として出荷する他、青年農業者協議会で地元の保育園児にさつまいもの植え付けから収穫までの体験を行うなど**食農教育**にも取り組んでいます。

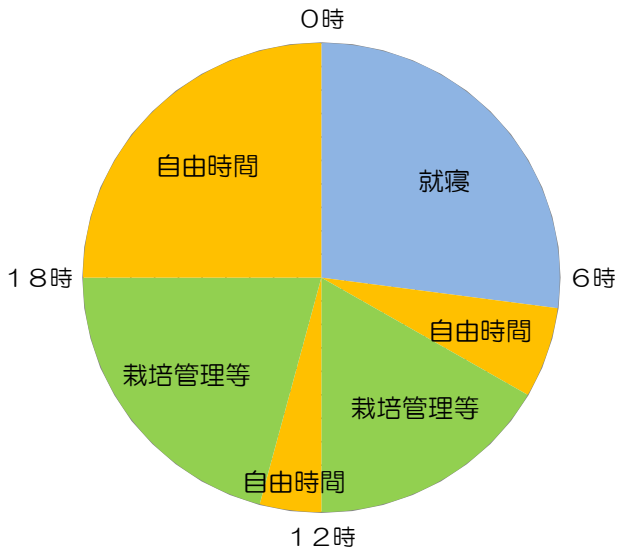


里芋の収穫



生産した野菜と加工菓子

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

不定期な休みの中で、子どもの行事は優先するようにしています。そして、夕食はできる限り家族揃って食べるようにしています。

また、夫婦で参加するイベントや東予地区で結成した若手女性農業者グループ「たべとうみん」のマルシェには、なるべく親子で参加し、子どもと一緒に様々な人との触れ合いを楽しめる機会を大切にしています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	天候等により作業が少ない時が休日					
← 栽培管理・収穫・調整・直売所出荷 →						
【普通期】	← 栽培管理・収穫・調整・直売所出荷 →					
						家族でマルシェに出店
						休日



「たべとうみん」のマルシェ



家族団らん

☆これからの夢や目指すもの☆

農業の担い手として、既存の農業を「自分達の農業」として経営していけるよう、様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。「私たちが生産した色とりどりの野菜で楽しい食卓を囲んでもらいたい」「野菜でつながる人の輪を広げていきたい」「作っている人、食べる人が見える・つながる野菜作りをしたい」そして、「農業が身近であってほしい」という思いを胸に、特産さといもなどの魅力をPRできる産直やマルシェなどの対面販売の機会をこれからも大切にしていきたいと思っています。

☆メッセージ☆

農業は生産から販売までやり方一つでプラスにもマイナスにもなる難しい職業だと思いますが、生活の基本「衣食住」の食を担う魅力ある仕事だと思います。

皆さんも自分らしい農業を探してみませんか？